MADPA2021



2021年を振り返って、プロジェクトコーディネーター

2021年が終わりに近づき、本年を振り返ると、それがどれほど早く過ぎたかに驚いています。世界中で感染症や死亡者の数が増えて、私たちのこの1年は孤立と恐怖に費やされてきました。そして将来はどうなるのだろうかという不安と隔離は、今までになかった孤独感と断絶感をもたらしました。

ザンビアのような第三世界の国々は、在宅での仕事や学習を支援するインフラが不足しており、特に農村部の子供たちは丸一年間教育を受ける機会を失ってしまいました。農村部のコミュニティにはテスト施設とキットがないため、うなぎ登りのパンデミックを制御または阻止するために必要な情報が提供されていませんでした。

死の暗い影と失業と無収入の真只中にあっても、共同体として困難な時期にこそ互いに支え合い、助け合う能力に伴う明るい光と希望がまだあります。プロジェクトチームとメンバーは、自然農法による食糧栽培を通して、懸命に働き、その空気を変える彼らの決意と能力に私は驚かされ続けてきました。家を空け、プロジェクトサイトまで長距離を移動し、キャンプをして、さまざまなスキルを学ぶために集まって来る彼らの意欲は、いつも私に大きな喜びと希望を与えてくれました。

また、プロジェクトの継続的実行により、農民たち、職業訓練校の学生たち、そして子供たちが支援的な環境でしっかりと学ぶことができるように一生懸命に働いている舞台裏の人々にも感謝しなければなりません。プロジェクトサイトの世話をしているスタッフに拍手を送ります。彼らはこの場所を農民たちにとって信頼のできる教育現場であり情報共有の場所にしてくれています。

そして、デモンストレーション農家とボランティアの農民たちに感謝したいと思います。彼らは日常生活から時間を割いてイベントや活動を企画して仲間のメンバーをサポートし、そのことは地域社会全体への利益にもつながっています。

何よりも、あらゆる困難を乗り越えて毎年私たちを支え続けてくれている秀明とそのメンバー に心から感謝したいと思います。パンデミックにより空の旅が困難になり、お互いに顔を合わせることができませんが、あなた方の親切な精神、支援、そして愛は、私たちを隔てる何千マイルにもわたって輝き続けています。



私たちはこのパンデミックが間もなく終了することを願い、2021/2022年の雨季が始まり、健全な収穫ができることを祈っていますが、何よりも、2022年にまたお会いし、ストーリーを共有できることを楽しみにしています。

ハッピーホリデイ& 新年あけましておめでとうございます!

プロジェクトを支えてくれている人たち









WWW.NADPZ.ORG





ザンビア自然農法開発計画の2021年



自然農法活動

アフリカの農村地域で農作物の流通システムを構築することはとても難しい課題です。作物供給に関連または付随する条件は、小規模農家にとってそれを満たすことは容易なことではありません。農民にとってほとんど不可能な量と質を満たすことを期待されており、その上その支払い条件では、彼らの日常に必要とする経費を賄うことができません。

ザンビア自然農法開発計画(NADPZ)では、協同組合モデルと質の高いトレーニングプログラムを組み合わせて、民間企業が必要とする供給契約に農民たちが必要な条件を満たすことを目指しています。

今年、NADPZは菜園研修プログラムを拡大し、ジャガイモとキノコの栽培を始めました。各地の農民クラブから選ばれたデモンストレーション農家が3日間のトレーニングに参加し、修了証明書を受け取りました。彼らは、ムババラ地区の8つの組合と農民クラブのジャガイモとキノコ栽培の指導者になります。





植樹と菜園



ペンバ・スクールの菜園(右)は常に成功をおさめており、収穫物は学校給食プログラムの一環として使用されています

新たな農民クラブの女性たちがNADPZに加わり、自然農法について学びました。左の写真は、新会員クラブの自然農法菜園の状況です。

下の写真(左から右)は、プロジェクトサイトで野菜畑、植樹プログラム寄贈された木の苗、 そしてあるデモンストレーション農家の自然農法サツマイモ園です。





WWW.NADPZ.ORG





カベタ職業訓練センターの青年たち、2021年



青年たちの活動、2021年

職業訓練センターは2020年1月にオープンしました。カベタ職業訓練センターは、 $18\sim25$ 歳の学校卒業後の若者を支援するために建設されました。この施設は、若者たちが職業スキルを身につけ、彼ら自身とその家族のために収入を生み出すことを目的としています。

2022年1月、新しい研修生が6か月の大工と縫製のコースを開始します。このコースには、自然農法のトレーニングも含まれています。













2021年自然農法ショー



コミュニティへの参加

COVID 19のために2年間自然農法ショーを開催できませんでしたが、今年、女性たちはムババラ・プロジェクトサイトで開催しました。ショーにはペンバとチカンタのメンバーだけでなく、他の周辺地域からの新しい農民クラブも参加しました。

会員農民たちと共に、周辺地域の農民たちも、自然農法について学び、スポーツを観戦し、伝統のダンスや歌に参加し、パンを焼きました。

2023年には日本の秀明メンバーと一緒にショーを開催できることを楽しみにしています。





















マンボウ女性農民組合コミュニティ小学校



将来の農民を育てる

マンボウ女性農民組合(MAWOFA)コミュニティ小学校は2015年に30人の生徒、1人の教師、2つの教室を持って開校しました。 現在、学校には4つの教室があり、幼稚園から5年生まで120人の生徒、2人の教師と3人のサポートスタッフからなります。

学校は、いつの日か中等学校の開設を目指して成長と拡大を続けています。 寮は2020年に完成し、学校から遠く離れたところに住む10人の少女と10人の少年たちに住宅を供給しています。

保護者たちは、生徒たちの制服の制作と少なくとも1日一回は健康な食べ物を得られるように努力を続けています。





















2021年、その他の活動



建設と農民クラブ・プロジェクト

農民や農村地域を支援するインフラ整備を拡大し、継続することは常に重要です。 NADPZには毎年、中央プロジェクトサイトやその他のプロジェクトサイトの成長を目的とした建設プロジェクトが数多くあります。

今年、NADPZはカベタ職業訓練センターの寮とMAWOFAスクールの2つの新しい教室、そして新しい鶏飼育施設の建設を開始しました。そしてムババラとペンバ地区に新たな井戸を掘削しました。

各農民クラブでは、新旧の会員のトレーニングに引き続き注力し、ピーナッツバターなどの新製品の製造やその他の貴重なスキルの向上目指して互いに研鑽しています。





















2021/2022年度、農業シーズン



雨季の到来

 Π 月から4月はザンビアの雨季であり、ほとんどの農家がトウモロコシ、落花生、ヒマワリなどの主食作物を植える忙しい時期になります。

農民たちは畑に出て、雨を待って種まきを開始するための土地の整備をする時期です。 NADPZには、ムババラ、ペンバ、チカンタそれぞれの地域にプロジェクト区画を持っており、そこでは自然農法トウモロコシ、落花生、そして今年からヒマワリの栽培に使用されます。

下の写真は、今年畑を準備し種まきをしている農民たちの様子です。















WWW.NADPZ.ORG



